

## 5. 指標、目標値一覧（見直し後）

食育推進目標	指標	対象	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	中間 評価	目標値 H34 (2022)	出典	
食事の重要性を理解し、食を楽しむ	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加(朝・夕の合計)	20歳以上	9.8回/週					9.8回/週		10.8回/週	(1)	
食を大切に、感謝の気持ちを深める	食育に関心のある人の増加	20歳以上	57.7%					54.8%	×	90%	(1)	
	食事を残さないように食べたり、無駄なく調理したりしている人の増加	20歳以上	75.2%					72.7%	×	85%	(1)	
食と健康に関心を持ち、健康の保持増進を図る	朝食を毎日食べる人の増加	3歳児	92.1%	91.3%	92.8%	93.6%	93.6%	91.6%		100%	(3)	
		5歳児				94.9%		94.8%		100%	(6)	
		小学生	87.6%	85.3%	80.5%	81.3%	82.0%	80.1%	×	93%	(4)	
		中学生	84.1%	83.8%	79.6%	76.5%	76.3%	72.4%	×	85%	(4)	
		高校生	76.8%					86.9%		85%	(2)	
		20・30歳代男性	50.7%					52.5%		85%	(1)	
		20歳代女性	57.6%					49.1%	×	85%	(1)	
	年代変更	20・30歳代女性	64.5%					68.0%		85%	(1)	
	野菜を毎食食べる人の増加	3歳児	23.0%	24.3%				18.8%	19.7%	×	70%	(3)
		小学生	29.3%						24.0%	×	70%	(2)
		中学生	25.0%						28.3%		55%	(2)
		高校生	30.3%						36.2%		50%	(2)
		20歳以上	29.8%						29.6%		50%	(1)
	主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数の増加(朝・昼・夕の合計)	20歳以上	14.5回/週					13.7回/週	×	15.5回/週	(1)	
	肥満者、やせの者の減少	小学生の肥満	7.0%	7.8%	7.3%	7.2%	7.6%	8.1%	×	6.5%	(5)	
中学生の肥満		9.2%	8.3%	6.6%	7.8%	6.8%	8.7%		8.5%	(5)		
20～60歳代男性の肥満		23.0%					26.7%	×	15%	(1)		
40～60歳代女性の肥満		13.3%					12.4%		10%	(1)		
20歳代女性のやせ		23.7%					34.0%	×	15%	(1)		
指標変更	メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している人の増加	20歳以上	25.5%					25.3%		30%	(1)	
	生活習慣病の予防や改善のために、普段から食生活に気をつけて実践している人の増加(適正体重の維持や減塩)	20歳以上						59.3%		65%	(1)	
食を選択する能力を身につける	栄養成分表示を参考にする人の増加	20歳以上	46.7%					44.9%	×	50%	(1)	
食を通じてマナーや社会性を身につける	家庭で食事のあいさつ(いただきます、ごちそうさま)をしている子どもの増加	5歳児				86.5%		目標数値設定 85.4%	増加	90%	(6)	
地域の産物、食文化を理解し尊重する	行事食を取り入れている人の増加	20歳以上	82.1%					76.6%	×	90%	(1)	
	給食等で行事食を取り入れている回数の増加	保育所・認定こども園			13.2回/年			目標数値設定 13.9回/年	増加	14回/年	(7)	
	地域の産物や旬の食材を使用する人の増加	20歳以上	82.4%					82.2%		95%	(1)	
	学校給食に地場産物を使用する割合の増加 <small>使用割合＝岡山県産品目数/全使用品目数×100</small>	6月・11月	41.3%	44.9%	39.5%	46.1%	50.3%	51.6%		47%	(5)	

- (1)健康基礎調査アンケート(平成23年・平成28年)  
(2)健康づくりアンケート(平成23年・平成28年)  
(3)3歳児健診時食生活アンケート(平成23年度・平成28年度)  
(4)児童生徒の食生活、日常生活習慣等の調査(津山市教育委員会、平成23年・平成28年)  
(5)津山市教育委員会調査(平成23年度・平成28年度)  
(6)幼児の食生活アンケート(平成26年・平成28年)  
(7)行事食に関するアンケート(平成25年度・平成28年度)

目標達成  
策定時より目標に近づいた  
変化なし  
(策定時より概ね±1%、  
0.1回/週又は0.1回/年未満)  
× 策定時より目標から遠ざかった

## 6 . 関係団体等の今後の目指す姿と取り組みの方向性

計画の最終年である平成 34 ( 2022 ) 年度に向けて、関係者がさらに連携、協力を密にして取り組んでいくため、関係機関・団体、行政の目指す姿や取り組みの方向性を示します。

関係機関・団体・関係課名	目指す姿	取り組みの方向性
美作大学	本学学生、卒業生や大学関係者による食育を受けた子どもたちが、食事の自己管理ができる若者となって地域を支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭資格者の養成を促進</li> <li>・食育活動のサポートができる体制を充実させる</li> </ul>
津山市医師会	家族との楽しい食生活が子供たちの心身の健全な発育に必要である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間評価では、「小学生の肥満の減少」「20 歳代女性のやせの減少」の両指標が著しく悪化</li> <li>・低出生体重児出生数は 10.3% (H27 年度) であり、全国平均・岡山県平均を上回っている</li> <li>・低出生体重児は、小児期の肥満、さらには生活習慣病の誘因となるとされており、母体の低栄養が低出生体重児の原因の一つである</li> <li>・「20 歳代女性のやせの減少」が出生体重の増加、「小学生の肥満の減少」、ひいては生活習慣病の予防となるため、「小学生の肥満の減少」「20 歳代女性のやせの減少」に特に取り組みたい</li> </ul>
津山歯科医師会	噛むことの大切さを認識し、健康なお口で健やかに過ごす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な食生活を送るために、口腔機能(咀嚼、嚥下、発音)を維持、増進することが大切なことを啓発する</li> </ul>
津山市栄養改善協議会・津山市愛育委員連合会	地域の人々が健康で心豊かな生活を送る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい生活習慣・食習慣を定着させるため、継続して正しい知識の普及、啓発を図り、実践を促す活動を実施する</li> </ul>
NPO 法人津山市消費生活モニター連絡会	一般市民を対象に、健全な食生活を送ることができる“人づくりのための食育”を定期的に行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刻々と変化していく「食育」「食の安全」の情報を収集して、子どもたちの健全な成長のために、また、大人の健康な生活のために食に関する情報を提供していく</li> </ul>
公益社団法人岡山県栄養士会津山支部	「たのしい栄養」を推奨し、たのしく食べる環を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会、相談事業を継続し、簡単で栄養面も優秀なレシピと栄養ポイントを紹介する</li> <li>・行政等他団体との連携強化</li> </ul>
津山市 PTA 連合会	各家庭が規則正しい食生活を送る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの向上を図る</li> <li>早寝、早起き、朝ごはんの大切さを啓発する</li> </ul>
津山市保育協議会	乳幼児一人一人が生活リズムの整った生活を送る 早寝・早起き・朝ごはんが実践でき、生活リズムの整った生き生きとした子どもを目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の食生活環境が整うように生活リズムの改善計画を作成し、実行する</li> <li>・講演会を実施する</li> <li>・他施設の見学、意見交換を行う</li> </ul>
津山市公立・私立幼稚園	幼児が食べる楽しさを知り、健康な生活を送る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新教育要領のもと、取り組みを継続しながら、津山市の幼児の課題、幼児をとりまく環境の課題を捉え、計画を見直していく</li> </ul>
津山市こども課	乳幼児が食べる楽しさを知り、健康な生活を送る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の多様な関係者との連携や協働体制を強化し、食育環境(栽培、調理等)の整備を図るとともに、食育に関する保護者の参画意識の向上に取り組んでいく</li> </ul>
津山市小・中学校	児童・生徒が健康で心豊かに成長する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、調理、試食等の体験を通じて食材の旬を知り、おいしく食べようとする</li> <li>・命をいただくことに感謝し、残さず食べようとする(残菜を減らす)</li> <li>・系統的な食育指導を積み重ねていく</li> </ul>

津山市教育委員会学校教育課	児童・生徒が望ましい生活リズムに基づき、正しい食習慣を身につけ、豊かな食生活を実践する	・ H25年度～H29年度の取り組みを引き継ぎながら、学校給食を生きた教材として活用しつつ、学校の教育活動全体で食に関する指導の充実に努める
津山市教育委員会保健給食課	児童・生徒が豊かな心と健やかな体、確かな学力を身につけ、たくましく成長する	・ 朝食摂取、野菜摂取、給食を残さず食べることについて普及、啓発推進 ・ 安全で安心な食材を選択する能力、自分で調理する力を身につけるための普及、啓発推進
津山食品衛生協会	食の安全・安心の確保と健康増進	・ 若年層を中心に、正しい手洗い方法を身につけてもらい、手洗いを習慣づけてもらう ・ 食中毒予防について正しく知ってもらい、食生活をより安全に豊かにしていく
津山農業協同組合	米を主食に魚介類、野菜、豆類、特に地域の特産物などを副食としたバランスの良い食生活による健康的な生活 地域独自の伝統的な食文化を継承し、地域と家族が幸福になる生活	・ 地元産農畜産物の需要拡大 栄養バランスと、特に朝食を重視した食生活の推進による健康的な生活と地元産農畜産物の需要拡大の実現
おかやま酪農業協同組合	牛乳・乳製品の摂取により日本中が元気になる	・ 牛乳・乳製品の摂取増加への取り組み イベント等を通じて、牛乳・乳製品の利用方法を伝え、飲用以外の摂取を働きかける 関係機関とも協力し、牛乳・乳製品の良さを理解してもらう
津山市農村生活交流グループ	地産地消活動を通じた住み良い地域社会の実現	・ 地域農産物活用商品の開発・改良及び普及 ・ 異世代交流による地域農産物加工技術、伝統食、郷土料理等の伝承
津山市みらい産業課	地産地消活動を通じた住み良い地域社会の実現	・ 地域農畜産物活用商品の開発・改良及び普及支援 ・ 市内3か所の農産物直売所の支援 ・ 協働による地産地消啓発活動の実施 ・ 学校給食における地産地消の推進
美作広域農業普及指導センター	地域力を生かした6次産業化、農商工連携の推進	・ 女性や高齢者等多様な担い手の知恵や経験を生かし、地域資源を活用した「6次産業化」への取り組みや、学校給食への食材供給、食農体験交流などの支援 ・ 地域農業と商工業等の「農商工連携」の強化や、農業者と消費者との相互理解促進、地産地消運動の推進など、地域農業の活性化支援
津山市農業振興課	市民の農業への関心が高まり、地域農業が振興する	・ 農業体験や地場産農産物の広報を充実させ、農業と食の関わりについて理解を深めるように働きかける
岡山県美作保健所	食を通じた健康な人づくり・地域づくり～実践の輪を広げよう～ ・ 人と人をつなぐ ・ 健康な体をつくる ・ 豊かな心を育む	・ 「岡山県食の安全・食育推進計画」に基づき、食を通して健康に人を育むことができるよう地域食育活動を推進する ・ 食生活の課題の要因を探り、効果的な活動となるようターゲット層を絞って、各市町や学校・関係団体と連携して、「健康的な食生活を実践出来る人」を育てる活動を行う ・ 外食・中食への依存度が高くなるなかで、栄養士会・飲食店等と連携して「健康な食事」を提供できる食の環境整備を進める
津山市環境生活課	市民が食の安全に関する知識を身につけ、実践することができる	・ 食の安全確保のための普及、啓発活動を推進する
津山市教育委員会生涯学習課	食の重要性や日本の食文化を学び、次の世代につなぐ	・ 家族のふれあいと楽しい食事の推進 ・ 健全な食生活の啓発と食育体験の実施
津山市健康増進課	市民が健康で心豊かな生活を送る	・ 食育に関わる庁内関係部署、関係機関・団体との連携体制強化 ・ これまでの取り組みを継続しつつ、市民の実践につながる方法を考え、実行していく ・ 朝食摂取を中心とし、関連する共食、野菜摂取、主食・主菜・副菜をそろえて食べることなどを併せて普及啓発していく

## 7. 食育推進目標別の重点的取り組み

6つの食育推進目標別に、関係機関・団体、行政の取り組みを明確にし、目標の達成に向けて食育を推進します。

印は新規、 印は拡充

【食育推進目標】食事の重要性を理解し、食を楽しむ	
五感（視覚、嗅覚、聴覚、触覚、味覚）を使って食事をし、食べ物の美味しさを味わう力「味育」(みいく)を養う	津山歯科医師会
育児相談等、若い世代が集まる場所で、共食の意義や重要性について普及啓発する	津山市栄養改善協議会・津山市愛育委員連合会
・幼稚園等で食育活動を実施し、一緒に楽しく食べることを推奨する ・市民を対象としたイベントへの講師派遣	岡山県栄養士会津山支部
・管内栄養改善協議会、栄養士会、学校と連携して、小学生・中学生への共食推進の食育活動を行う	美作保健所
SNS等を活用し、共食の意義や重要性について普及啓発する 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に配慮してもらえるよう、企業等に働きかける	健康増進課

【食育推進目標】食を大切にし、感謝の気持ちを深める	
・栄養教諭資格者の養成を促進（資格取得の推奨）	美作大学
・食品ロス削減について支部研修会等で学習し、個人の取り組みを家族、地域へと一口運動で広げていく	津山市栄養改善協議会・津山市愛育委員連合会
・「城西まちづくり協議会」との協働で、食の安全や地産地消の大切さ、調味料の選び方などを消費者に対して啓発する	NPO 法人津山市消費生活モニター連絡会
・朝食づくり講座を実施し、朝食を摂ることの大切さについて話を聞く ・つやま市P連新聞に、朝食づくり講座の内容と健康的な食生活を送ることの大切さについての記事を掲載する ・会議等で栄養士に食育に関する話をしてもらい、啓発チラシを配布する 食育研修会等に積極的に参加する	津山市 PTA 連合会
・離乳食、アレルギー除去食についての専門的な研修を各機関との連携を図りながら実施し、個々の食生活環境が整うよう保護者との共有を図る ・保育協議会担当者会にて食育の計画の見直し及び再確認、意見交換を図り、園児や保護者に繋げる	保育協議会
・幼児の食生活アンケート（5歳児対象）に取り組み、食育に対する意識の向上を図る	保育協議会・幼稚園・健康増進課
・野菜栽培・収穫・買い物・調理・食事体験実施 ・食育教材（絵本や図鑑等）での学び ・保護者や栄養士、地域と取り組む食育活動	幼稚園
・乳幼児期の食生活が将来の健康的な食習慣の基礎になることを、各園職員に継続的に発信し、園児・保護者への実践と啓発につながるよう推進していく ・離乳食やアレルギー除去食について適切な対応を行うため、計画的に研修を行っていく ・クッキングの目的や実施効果について各園職員・児童クラブ担当者に更に啓発を行い、実績増加を図っていく 関係機関（市栄養士など）との連携により、子育て支援センターにおいて「食育講座」等を実施し保護者の啓発を図っていく	こども課
・給食指導、農業体験や地域の生産者との交流を通して、積極的に食を考える機会を提供しながら、学校教育活動全体を通じた食育を推進していく。	学校教育課
食品営業者だけでなく、一般消費者にも食中毒予防や食の安全について正しい情報を発信し啓発を行う 関係団体（津山飲食業組合）と連携して、食品ロスの削減に取り組んでいく	津山食品衛生協会

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農畜産物を使った料理教室、食に関する講演、学童農園、出前授業、各種イベント等で食農教育を実施し、食の大切さを学んでもらう</li> <li>・ごはん・お米にまつわる作文・図画コンクールの作品募集について、小・中学校へ声かけ、資料提供</li> <li>・子ども向け雑誌（ちゃぐりん）を小学校へ配布</li> </ul>	津山農業協同組合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生対象の「牛乳大好き！絵画コンクール」の募集を継続し、酪農や牛乳に興味関心をもってもらう</li> <li>・高校生以上対象の「牛乳・乳製品利用コンクール」の募集を継続し、飲用だけでなく料理へ利用してもらう</li> <li>・給食の牛乳の飲み残しを減らすため、希望する中学校には骨密度測定や食育イベントを実施</li> </ul>	おかやま酪農業協同組合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農産物を活用した商品開発・改良と直売所等での販売</li> <li>・地域農産物やその加工品を活用した料理教室の実施</li> <li>・味噌等伝統食の加工技術伝承</li> </ul>	津山市農村生活交流グループ協議会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・津山市農商工連携推進団体（つやまFネット）を中心とした地域農畜産物を活用した商品の開発・改良及び普及活動の支援</li> <li>・地域農畜産物を取り扱う市内3か所の直売所（津山市地産地消センターサンヒルズ・勝北マルシェほほえみ彩菜・道の駅久米の里）の活動支援</li> <li>市内高校、大学等との協働による地域農畜産物活用レシピコンテスト、普及イベント等地産地消啓発活動の実施</li> </ul>	みらい産業課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・津山地方農業青年クラブ協議会主催の食農体験交流を支援する</li> <li>・若手農業女性の会や生活交流グループ等各種団体の食育・地産地消活動を支援する</li> <li>・園児・小学生対象の各種農業体験を通して、周りの大人にも食べ物の貴重さを伝える</li> </ul>	美作広域農業普及指導センター
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者庁や岡山県からの情報をホームページに掲載し、市民に周知を図る</li> <li>・市役所・図書館等でパネル展を開催し、市民へ周知を図る</li> <li>・消費生活講座等の中で、パンフレット等を配布し、市民への啓発を図る</li> </ul>	環境生活課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館講座、つやま子ども未来塾などで、食育を啓発する</li> </ul>	生涯学習課
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での食品ロス削減のための具体的な方法を普及啓発する</li> <li>庁内関係部署、関係機関・団体等と連携し、宴会等での食べ残しを減らすよう啓発する</li> </ul>	健康増進課

つやまFネット：津山市内の農業者、工業者、商業者、教育機関、専門機関、行政等が津山市の農商工連携を推進するため、Food(食料)、Farmer(農業者)、Fresh(新鮮)、Flexibility(柔軟さ)、Fit(適した)の頭文字「F」にこだわった活動をする会議体。

【食育推進目標】食と健康に関心を持ち、健康の保持増進を図る	
戸島学校食育センターとの協働による就学前教育・大学入学時教育の実施 総合学習および基礎家庭の授業における出前授業の充実	美作大学
3歳児健診のBMI（カウプ指数）が1歳6か月児健診のBMIより増加している場合、小学生以降の肥満のリスクが高いとされている。また、3歳児健診から小学校入学までにBMIが低下すれば、小学5年生での肥満のリスクが低下したとの報告もある。3歳児健診でのBMIに留意して、小学校入学までの期間に肥満予防の指導をする。 母体の栄養状態が、子どもの生活習慣病をはじめとした成人病を発症するリスクを高めること、さらに世代を超えて影響する可能性があることを、日常の臨床や、校医活動のなかで啓蒙していく。（20歳代女性のやせの減少）	津山市医師会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カミング30を実施し、口腔機能の発達、維持を図る （カミングサンマル：一口30回噛むことで、噛めて、味わえて、飲み込めるお口を目指す） 健康寿命の延伸のため、プレ・フレイルとしてのオーラル・フレイルを周知し対策を行う （フレイル：加齢にともなって様々な臓器機能が変化し、恒常性や予備機能力が低下して健康障害に対する脆弱性が増加した状態）</li> </ul>	津山歯科医師会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種料理教室、講習会、イベント等で、朝食摂取、野菜摂取、主食・主菜・副菜をそろえて食べること、生活習慣病予防のための食生活について啓発する</li> </ul>	津山市栄養改善協議会・津山市愛育委員連合会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、中学校、高校における食育教室等への講師派遣</li> <li>・栄養食生活相談事業を継続実施する 「栄養の日・栄養週間」のイベントを企画、継続する</li> </ul>	岡山県栄養士会津山支部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食づくり講座で、簡単に栄養価の高い朝食メニューを実習し、朝食の大切さについて学ぶ</li> <li>つやま市P連新聞に、野菜を使った簡単なメニューなどの啓発記事を掲載する</li> </ul>	津山市PTA連合会

<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、収穫体験を通して喜びや楽しさを知らせ、収穫した野菜を調理して食するおいしさを伝えていく</li> <li>・朝の検診時等に、朝食の大切さを繰り返し伝えていく</li> <li>・保育協議会調理担当者会と連携し、朝食の簡単レシピを作成し配布する</li> <li>・親子クッキングや料理教室を通じて、朝食の大切さを園児や保護者に周知する</li> </ul>	保育協議会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校とともに「早寝・早起き・朝ご飯」の取組を継続し、3食必ず食べるように指導、啓発していく</li> <li>・小学校での給食体験を通してバランスの良い食事やマナーについて学び、小学校に繋ぐ</li> </ul>	幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>○肥満・やせすぎの幼児の減少に向けて、園医や保健師等と協力し、保護者に指導する</li> <li>・各園や児童クラブと連携して、野菜の栽培等により取り組んでいく</li> <li>・園児や児童の指導、保護者への啓発のため、野菜の教材紹介等を行い周知していく</li> <li>・情報や課題の共有を行い、個々の健康的な食習慣の指導を継続的に図る</li> </ul>	こども課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科授業・学級活動・給食指導等を、全体計画に沿って全校で取り組んでいく</li> <li>・基本的な生活習慣・食生活改善のために生活調べ等をする</li> <li>・栄養士・栄養教諭による指導回数を増やす</li> <li>・朝食づくりなどを学級P活動で取り組む</li> <li>・PTAと連携して家庭での調理体験を増やす</li> <li>・地域の産物、津山産野菜の資料（実物や図等）で紹介する</li> <li>・野菜を育て、おいしく食べる方法を考え、調理して食す</li> </ul>	小学校・中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の基本的な生活習慣や食生活の改善、学習等に対する意欲の向上等を図るため、担当教職員と栄養教諭や栄養職員が連携し、家庭科、保健及び特設授業等で、効果的な指導につなげていく</li> </ul>	学校教育課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、講座、啓発資料等で早寝早起き、朝食摂取、野菜摂取の重要性について児童・生徒や保護者に啓発する</li> <li>・授業で自分の健康を維持するために何をどう食べればよいのか自ら判断できる能力を身につけるよう働きかける</li> </ul>	保健給食課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防や高齢者の低栄養対策に牛乳・乳製品の摂取が良いことを呼びかける</li> <li>・牛乳のコクや旨味を利用し、おいしく減塩ができる乳和食の普及に取り組む</li> </ul>	おかやま酪農業協同組合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が栽培するため、野菜を食べる機会の多い市民農園利用者と、その家族を増加させるよう、広報活動を行う</li> </ul>	農業振興課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内栄養改善協議会、栄養士会、学校と連携して、小学生・中学生・高校生への朝食摂取向上の食育活動を行う</li> <li>・管内・県で作成した普及啓発媒体を活用して減塩、野菜摂取向上等の食育活動を市町・関係団体と連携して行い、生活習慣病の発症予防等若い世代からの健康づくりに努める</li> </ul>	美作保健所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝早起き朝ごはんをテーマにした子育てワークショップを小学校などで開催し、保護者への啓発を行う</li> <li>・家庭教育・子育て情報誌（啓発チラシ）に早寝早起き朝ごはんに関する記事を掲載し、関係部局と連携・協力して、子育て家庭に配布する</li> </ul>	生涯学習課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健診、3歳児健診で肥満のリスクがある子どもへの対応を検討する</li> <li>・保育所、こども園、幼稚園等との連携を推進する</li> <li>・高校生へ、適正体重の維持や適正な食事量について普及啓発する</li> <li>・乳幼児健診、広報紙、市ホームページ、SNS等で朝食の大切さを繰り返し伝え、特に若い世代に向けて朝食に取り入れやすい野菜料理を紹介する</li> <li>・特定保健指導等で、適正体重に近づけるよう個別支援をする</li> <li>・汁物の塩分測定、塩分チェック等を実施し、個人に合った減塩の取り組みを支援する</li> </ul>	健康増進課

### 【食育推進目標】食を選択する能力を身につける

<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養成分表示について支部研修会等で学習し、個人の取り組みを家族、地域へと一口運動で広げていく</li> </ul>	津山市栄養改善協議会・津山市愛育委員連合会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「栄養成分表示の店登録事業」への対応をする</li> <li>・「栄養の日・栄養週間」のイベント時に展示等で啓発する</li> </ul>	岡山県栄養士会津山支部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防や高齢者の低栄養対策に牛乳乳製品摂取が良いことを呼びかける</li> </ul>	おかやま酪農業協同組合

・栄養士会津山支部と連携して、住民が自分の健康状態に合わせた食事メニューを選択できるよう「栄養成分表示の店登録事業」を進める	美作保健所
・消費者庁や岡山県からの情報をホームページに掲載し、市民に周知を図る ・市役所・図書館等でパネル展を開催し、市民へ周知を図る	環境生活課
・栄養成分表示の見方について普及し、食品の選択に役立ててもらおうよう啓発する	健康増進課

<b>【食育推進目標】食を通じてマナーや社会性を身につける</b>	
戸島学校食育センターとの協働による就学前教育・大学入学時教育の実施	美作大学
育児相談等、若い世代が集まる場所で、「いただきます」「ごちそうさま」の言葉の意味(語源)を周知する	津山市栄養改善協議会・津山市愛育委員連合会
・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつの大切さを日頃から知らせ、食事に適したあいさつの習慣化を図る	保育協議会
・「いただきます」「ごちそうさま」の定着のため、あいさつの大切さを保護者に啓発する ・食事の前の手洗いなど、衛生習慣を身につける	幼稚園
・「いただきます」「ごちそうさま」の意味や子どもの心の育ちにとって必要な習慣であることを、機会を捉えて引き続き発信し、園の職員や保護者と連携を図っていく	こども課
乳幼児健診、広報紙、市ホームページ、SNS等で「いただきます」「ごちそうさま」の言葉の意味(語源)を周知する	健康増進課

<b>【食育推進目標】地域の産物、食文化を理解し尊重する</b>	
・「城西まちづくり協議会」との協働で、食の安全や地産地消の大切さなどを消費者に対して啓発する	NPO 法人津山市消費生活モニター連絡会
・行事食や地域の産物、旬の食材を把握し、給食の献立を実施する 行事食及び地域の産物や旬の食材を取り入れたレシピを作成、配布し、食文化の情報を伝える	保育協議会
・行事食に関心が持てるよう、体験や啓発活動を実施 ・旬の野菜・津山の野菜を幼児・保護者に知らせる	幼稚園
・給食指導、農業体験や地域の生産者との交流を通して、積極的に食を考える機会を提供しながら、学校教育活動全体を通じた食育を推進していく	学校教育課
・地元農畜産物を使った料理教室、食に関する講演、出前授業等を実施し、地元食材の良さ、日本食の良さを再認識してもらい、各地域・家庭へ伝えてもらう	津山農業協同組合
・地域農産物を活用した商品開発・改良と直売所等での販売 ・地域農産物やその加工品を活用した料理教室の実施 ・味噌等伝統食の加工技術伝承	津山市農村生活交流グループ協議会
・津山市農商工連携推進団体(つやまFネット)を中心とした地域農畜産物を活用した商品の開発・改良及び普及活動の支援 ・地域農畜産物を取り扱う市内3か所の直売所(津山市地産地消センターサンヒルズ・勝北マルシェほほえみ彩菜・道の駅久米の里)の活動支援 市内高校、大学等との協働による地域農畜産物活用レシピコンテスト、普及イベント等地産地消啓発活動の実施 学校給食向け地域農畜産物活用加工商品等の開発・改良及び提供支援	みらい産業課
・生活交流グループ等各種団体の伝承料理活動を支援する ・地域の産物や旬の食材を活用した、6次産業化への取り組みを重点的に支援する ・地域資源を活用した新たな地域特産品の開発を支援する ・実需者と農業者との交流、意見交換を促進する ・JAや生産部会と連携して、学校給食に使用する地域産物の生産指導を行う ・地域資源を使用した6次産業化商品の開発を支援し、給食への供給を促進する	美作広域農業普及指導センター
・小麦やショウガなどの戦略作物や地域振興作物の生産振興及び生産性向上のための支援を行う ・津山産小麦、つやま和牛及び精肉、津山産ブドウの生産振興と消費拡大を目的とした広報・周知活動を行う ・関係部署・機関と連携し、イベント等で地域の農産物について紹介する	農業振興課
・公民館講座、つやま子ども未来塾などで、津山産や旬の食材を使用した調理体験などを実施する	生涯学習課
・行事食、地域の産物や旬の食材を取り入れた調理実習、レシピの紹介を実施する 庁内関係部署、関係機関・団体に、行事食、地域の産物や旬の食材についての情報提供をしてもらい、活用する	健康増進課

## 8 . まとめ

第2次津山市食育推進計画策定から5年間、関係機関・団体、行政などにより、多様な取り組みを主体的に推進してきました。また、教育現場や関係機関・団体が協働で取り組んだ食育教室や幅広い世代を巻き込んだイベントの開催なども増え、連携は確実に進んできています。

数値目標に対する達成状況は、「朝食を毎日食べる人（高校生）」、「給食等で行事食を取り入れている回数（保育所・認定こども園）」、「学校給食に地場産物を使用する割合」で、平成34（2022）年度の目標値を上回る結果となりました。

しかし、「朝食を毎日食べる人（小学生・中学生・20歳代女性）」、「野菜を毎食食べる人（3歳児・小学生）」、「主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数（20歳以上）」、「小学生及び20～60歳代男性の肥満、20歳代女性のやせ」、「栄養成分表示を参考にする人」については策定時より悪化しています。国の調査（国民健康・栄養調査）でも、エネルギーや食塩等の過剰摂取や野菜の摂取不足等による栄養の偏り、朝食の欠食に代表されるような食習慣の乱れが見られます。これらに起因する肥満や生活習慣病は引き続き課題である一方で、若い女性のやせ、高齢者の低栄養等の問題も指摘されています。

その他の指標では、「食育に関心のある人」、「食事を残さないように食べたり、無駄なく調理したりしている人」、「行事食を取り入れている人」が策定時より悪化していました。食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減、伝統的な食文化の継承のためにも、より多くの市民に食育に関心を持ってもらうことが欠かせません。

中間評価の結果、各年代で様々な課題がありますが、20歳代男女と30歳代男性では、健全な食生活の実践だけでなく、食に関する意識の面でも課題があることがわかりました。これから親になる世代や子育て中の世代は、自らも食育を実践し、食に関する知識や取り組みを子どもたちに伝えていくという大切な役割があります。これらの若い世代への関わりを増やすためには、情報発信の方法を工夫するとともに、教育現場での子どもを通じた保護者への食育や、親になる少し前の年代に対しては、高校・大学と連携した取り組みなどをさらに進めていく必要があります。

近年、食を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、食に関する価値観やライフスタイルの多様化が進んできています。世帯構造の変化や様々な生活状況により、家庭や個人の努力のみでは健全な食生活を実践することが困難な状況も見受けられます。

これらの状況に対し、関係機関・団体、行政などがその特性や能力を生かしつつ、第2次津山市食育推進計画の最終年である平成34（2022）年度に向けて、さらに連携、協力を密にして市民一人ひとりの食育の実践を支援し、多様な食育の機会を提供するよう努めてまいります。

最後になりましたが、第2次津山市食育推進計画の中間評価報告書作成にあたりまして、ご尽力いただきました津山市食育推進会議委員や関係機関・団体の皆様、アンケートにご協力いただきました市民の皆様に厚く御礼申し上げます。



## 9 . 参考資料

### 津山市食育推進会議委員名簿

役 職	氏 名	所属団体等
会 長	橋本 賢	美作大学短期大学部 准教授
副会長	松本 静江	津山市愛育委員連合会 会長 津山市栄養改善協議会 会長
委 員	赤松 由美子	津山市立幼稚園長会 会長
	浅野 晴夫	美作広域農業普及指導センター 所長
	井上 博子	岡山県美作保健所 保健課長
	今村 正照	津山食品衛生協会 副会長
	岡田 成子	津山市農村生活交流グループ協議会 会長
	片山 薫	津山農業協同組合 営農生活部 営農販売企画課 課長代理
	直本 眞理子	一般公募
	下山 早織	津山市小中学校長会
	砂田 眞紀	岡山県栄養士会津山支部 副支部長
	田淵 典子	津山市消費生活モニター連絡会 理事
	原田 恵子	津山市保育協議会 研修部長
	春木 洋	津山歯科医師会 専務理事
	松尾 直光	津山市医師会
	松下 千春	おかやま酪農業協同組合 事業本部 生乳課 調査役
森安 伶菜	一般公募	
渡邊 祐貴子	津山市PTA連合会 理事	

委嘱期間 平成29年4月1日から平成31年3月31日

委員以下50音順 敬称略

## 第2次津山市食育推進計画 中間評価の経過

### 津山市食育推進会議

	開催日時	出席人数	内容
第1回	平成29年 11月21日(火)	委員 14名 事務局 15名	委嘱状交付 会長・副会長選出 議事 (1)食育推進のこれまでの主な経緯について (2)「第2次津山市食育推進計画」中間評価スケジュールについて (3)「第2次津山市食育推進計画」指標の評価について (4)「食育推進の取り組み 5年間の評価」について (5)「第3次食育推進基本計画」(国)について (6)「第2次津山市食育推進計画」指標、目標値の見直しについて (7)意見交換
第2回	平成30年 2月20日(火)	委員 16名 事務局 14名	議事 (1)「第2次津山市食育推進計画」中間評価報告書(案)について (2)その他

### 津山市食育推進本体会議

	開催日時	出席人数	内容
第1回	平成30年 1月19日(金)	本部員 13名 事務局 7名	議事 (1)「第2次津山市食育推進計画」中間評価報告書(案)について (2)その他

### 津山市食育推進チーム会議

	開催日時	出席人数	内容
第1回	平成29年 10月2日(月)	チーム員 11名 事務局 4名	議事 (1)食育推進のこれまでの主な経緯について (2)「第2次津山市食育推進計画」中間評価スケジュールについて (3)「第2次津山市食育推進計画」指標の評価について (4)「食育推進の取り組み 5年間の評価」について (5)「第3次食育推進基本計画」(国)について (6)「第2次津山市食育推進計画」指標、目標値の見直しについて (7)その他
第2回	平成30年 1月11日(木)	チーム員 9名 事務局 6名	議事 (1)「第2次津山市食育推進計画」中間評価報告書(案)について (2)その他

### 津山市食育推進本部事務局会議

	開催日時	出席人数	内容
第1回	平成29年 8月3日(木)	事務局員 13名	議事 (1)食育推進のこれまでの主な経緯について (2)平成25年度～29年度 食育推進状況について (3)「第2次津山市食育推進計画」指標の評価について (4)「食育推進の取り組み 5年間の評価」について (5)「第3次食育推進基本計画」(国)について (6)「第2次津山市食育推進計画」指標、目標値の見直しについて (7)その他
第2回	平成29年 12月13日(水) ～15日(金)	事務局員 9名	関係課事務局員と個別の話し合い(各課30分程度) (1)目標達成に向けた今後の重点的取り組みについて (2)その他

## 第2次津山市食育推進計画

### 中間評価報告書

平成30年3月

津山市こども保健部健康増進課

〒708-8501 岡山県津山市山北 520 番地

TEL 0868 (32) 2069

FAX 0868 (32) 2161

市ホームページ <https://www.city.tsuyama.lg.jp/>